

2019年 国際こども会議 実施計画

2019年2月2日更新
スプラタルカ

趣 旨

本国際会議を通して、参加国の子どもどうしが相互に意見を交換し、お互いの歴史や文化や習慣についての理解を深めることで、国を越えた相互理解を目指す。同時に、恩納村及び県内の子ども達が世界へ目を向け活躍する人材育成の機会とする。

国際こども会議 概要

1. 会議の運営

主催：「国際こども会議実行委員会」、スプラタルカ
後援：恩納村教育委員会

2. 開催期日（予定）

2019年2月11日（月曜日）

日本時間	14:30 – 16:30
台湾	13:30 – 15:30
マレーシア	13:30 – 15:30
タイ	12:30 – 14:30

3. 会議参加者（4カ国） *各国の希望者（有志） *小学5・6年生相当

- ① 日本： 恩納村及び県内在住小学5・6年生（20名～40名程度）
- ② 台湾： 麻豆國民小學（台南市）（10名～30名程度）
<http://www.mdes.tn.edu.tw/>
- ③ マレーシア： Batu Kawan 小学校（ペナン）（10名～30名程度）
<http://sekolahkebangsaanbatukawan.blogspot.com/>
- ④ タイ： Assumption College Lampang（10名～30名程度）
<http://acl.ac.th/acl2559/>

4. 会議内容

テーマ：「友だちって何？」

「What is a friend?」

*実際には、具体的な5つの質問を通して議論をする。

5. 会場

日本：恩納村博物館 1 階研修室

台湾：学校内

マレーシア：学校内

タイ：学校内

6. 会議形式

- ビデオ通話を使った4ヶ所同時中継（大型スクリーンに映す）
- 会場を解放し、見学者は会議を自由に見学できる。ただし、参加国の状況によっては閉じた集まりであっても構わない。（日本側は自由見学とする。）

7. 会議の目的

国を越えた普遍のテーマである、「友だちとは何か？」について、自ら考え、その上でお互いの意見や考えを交換することで、本テーマについての理解を深める。

また、他国の子ども達の意見を聞き、そして議論することで、国による考えの違いやまた共通点を実感し、世界についての理解を深める。

そして、このような活動を通して、ボランティアスタッフとしての参加も含め、ジュニアリーダーの育成を促す。

国際会議のプログラム構成

* 日本時間

場面	時間	会議の流れ	会議の詳細
あいさつ	14:30-14:31 (1分)	Ice Break タイム！ <全員>	参加者の緊張をほぐす。 ● 各国のことばで一緒にあいさつを行う。
	14:32-14:34 (2分)	各国司会者のあいさつ <各国司会者>	日本、台湾、マレーシア、タイの順番で、各国ひとことのアいさつ。
友だちとの過ごし方（遊び）	14:35-14:47 (実演 2 分、 質問 1 分。 各 3 分×4)	国や地域の遊び紹介 (日本、台湾、マレーシア、タイ) <各国担当者>	<u>伝統的遊び</u> をひとつ実演する。 ● 実際にその場で行う。 ● 出来れば、他の国も試してみる。 ● 他のグループから質問をする。
	14:50-14:52 (2分)	友だちとの過ごし方の紹介 <各国担当者>	日頃、友達と何をして過ごして遊んでいるかを、 <u>ベスト5</u> としてお互い発表する。(同時に表示) ● リスト表示 ● 共通な遊びや違いを確認する。
	14:57-15:00 (3分)	休憩	3 分間の休憩（トイレ休憩）

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 具体的質問に沿った意見交換 </p>	<p>15:00-15:10</p>	<p>テーマに沿った質問に対する意見の発表 (5つの質問に沿って、個人単位で意見を発表する。) <個人単位></p> <p>質問 1</p>	<p>主題「友だちって何？」というテーマのもと、具体的な質問を通して意見を交わす。</p> <p>質問 1：『友だち』ということばのイメージはどんなもの？</p> <p>質問 2：「友だちはたくさんいた方がいい？ 少なくともいい？」</p> <p>質問 3：「あなたは、どうやって友だちをつくる？」</p> <p>質問 4：『友達がいてよかった！』と思った時の体験を紹介してください。</p> <p>質問 5：「大切な友だちって、どんな友だち？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事前に 5つの質問を出し、ワークシートに自分の意見をまとめておく。(事前準備) ● 意見発表は、個人単位で行う。 ● 発表者は英語で発表してもよいし、日本語で発表してもよい。(スタッフが通訳する。) ● <u>国を指定せず</u>、自由に意見を述べる。(挙手方式で、全体司会者がグループ(国)を選び、グループ内ではグループ側が発表者を選択する。) ● 回答が必要な場合は、基本的に本人が回答する。 ● 時間を見ながら、適当なところで、次の質問に切り替える。
	<p>15:10-15:20</p>	<p>質問 2</p>	
	<p>15:20-15:30</p>	<p>質問 3</p>	
	<p>15:30-15:40</p>	<p>質問 4</p>	
	<p>15:40-15:50</p> <p>(各 10分×5 : 50分)</p>	<p>質問 5</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> その他の意見 </p>	<p>15:55-16:00 (5分)</p>	<p>その他の意見の発表 (最後に、その他の意見を求める。) <希望者></p>	<p>全体を通して、まだ出ていない意見を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>国を指定せず</u>、自由に意見を取る。 ● <u>会場(観客)からの意見や質問</u>も取り上げる。 ● 時間を見ながら、適当なところで切り上げる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> ついで のあい せり </p>	<p>16:02-16:03 (1分)</p>	<p>会議をまとめる <全体司会者></p>	<p>最後に会議を簡単にまとめる。</p>
	<p>16:04-16:05</p>	<p>国際会議終了のあいさ</p>	<p>国際会議終了のあいさつ。</p>

	(1分)	つ <各国司会者> *ビデオ通話の終了	* <u>ビデオ通話を終了する</u> 。
	16:07-16:10 (3分)	休憩	3分間の休憩（トイレ休憩）
全体のまとめ	16:10-16:20 (10分)	本会議のまとめ 感想の発表とワークシート記入 <全員、観客>	今日の会議について感想を述べる。（挙手方式） また、 <u>ワークシート</u> に記入してまとめる。 ● 各会場（各国）別々に行く。（ビデオ通話は終了している。） ● 今回の会議について意見や感想を取る。 ● <u>会場（観客）</u> からも意見や感想を取る。 ● ワークシートに自分の感想を書き込む。
	16:25-16:26 (1分)	国際会議終了のあいさつ つ <全体司会者>	会議の終了を伝える。 * 国際会議終了

事前準備

1. **児童各自**に、「友だち」について改めて考えてもらい、テーマに沿った具体的な **5** つの質問について、ワークシートに答えてもらう。（宿題）
 - 出来るだけ具体的に記入させる。
 - 回答は、複数あってもよい。
2. 事前研修で、沖縄と学校の紹介資料を作成する。
 - 地域紹介は、お互い事前（会議開催前）に紹介するので、そのための資料を作る。
 - 沖縄の写真と学校の写真を選択する。
 - 紹介用の図も作成する。英語の説明も加える。（通訳の支援）
 - 作成した資料は、事前に他のグループ（国）にファイルとして送信する。
 - 事前研修で、送られてきた、他のグループの地域紹介を学ぶ。（3地域）
3. 事前研修で、伝統的な遊びの発表を準備する。
 - グループ（国単位）としてひとつ選び、その発表を準備する。
 - 伝統的な遊びについて意見を出し合い、ひとつを選ぶ。
 - その遊びを実演する準備をする。（道具、役割）
 - 必要であれば、写真や図も用意する。
4. 事前研修で、友だちと何をして過ごしているか（遊んでいるか）の発表を準備する。

- 友だちと何をして過ごしているか（遊んでいるか）、のベスト5を決める。
 - ベスト5を図に示す。
5. 司会（進行役）を一人もしくは二人決めておく（各国） *児童
 - 自分たちの言葉で構わない。会議の進行を担当する。（通訳を前提。）
 6. 伝統的な遊びの実演役を決めておく。（各国）
 - 人数は、遊びの内容に合わせる。
 7. 遊びのベスト5の発表役を一人もしくは二人決めておく。（各国）
 - リストを見せて、お互い紹介しあう。（各国同時発表）

交流中の約束事

1. 相手の発表には、必ず質問や意見を返す。
2. 相手の意見や質問を理解しようと努める。質問や意見ではない、安易な価値判断や非難は行わない。（悪い例：「それは間違い！」「それはおかしい！」）

意思疎通の流れ

1. 原則、お互いの母語で会議を進め、通訳を介して意思疎通を図る。
2. 余裕があれば、自分の意見を英語で用意する。
3. 意思疎通の流れは以下の通り。
 - 「発表者（母語）」→「通訳（英語）」→
→<インターネット>→「通訳（母語）」→「相手児童」
 - 「質問者（母語）」→「通訳（英語）」→
→<インターネット>→「通訳（母語）」→「相手児童」

補 足

1. 参加する児童は、英語の能力によって選別されることはない。会議のテーマに関する考えや積極的に参加する意思をもとに選考する。

国際会議開催までの日程

1. 12月14日（金）～1月25日（金） 参加児童・ボランティアスタッフ 募集期間（募集範囲：沖縄本島全域）
 - *参加希望者は、研修前にワークシートを記入しておく。
2. 1月19日（土）9:00 – 12:00 第一回実行委員会開催
 - *ボランティアスタッフを含む。
3. 2月2日（土）8:30 – 12:00 第一回事前研修（意見のまとめ、発表準備）
4. 2月11日（月）11:00 – 14:00 第二回事前研修（発表練習、最終確認）
 - *集合前に昼食を済ませておく。
5. 2月11日（月）14:30 – 16:30 本会議開催

問い合わせ先

スプラタルカ

〒904-0305 沖縄県読谷村都屋 369 代表：本田勝也

info@supratarka.org

<https://www.supratarka.org/>

<https://www.facebook.com/supratarka/>

Supratarka

<https://www.supratarka.org/>

info@supratarka.org

